



東地申 第25号
10月16日開催

相鉄・JR直通線の開業に関する申し入れ【新宿運輸区】

7. 羽沢横浜国大前～横浜羽沢間の上り勾配にあるエアセクションを解消すること。

(回答) エアセクションを解消することは困難であると聞いている。

(組合) エアセクションでの遅れや駅での上り勾配を考え解消すること。

(会社) JR 東日本と相模鉄道との境界であり移設は難しい。解消できるよう今後も検討していく

8. 駅間に長時間停車した際のトイレ対策について明らかにすること。

(回答) 輸送障害時には車両に搭載されている携帯用トイレを使用する。

(組合) トンネル区間での異常時発生など想定した場合の対策を明らかにすること。

(会社) 運転台に携帯用トイレを整備する。JR 車両は 3 個、相鉄車両は 6 個を各運転台に搭載している。お客様用ではあるが、乗務員も使用可能である。

9. 羽沢横浜国大駅での車内貫通についての計画を明らかにすること。

(回答) 必要な教育・訓練は実施していく。

(組合) JR 東日本でも千葉支社や東京支社で取り扱いが違うこともある。車内貫通後の車掌の取り扱いなど明らかにすること。

(会社) 相模鉄道の社員が車内貫通を行い合図にて車掌はドア閉扉取り扱いを行う。訓練で周知を行う。

10. 長大トンネルでの避難誘導対策について明らかにすること。また、立坑の使用方法について明らかにすること。

(回答) 現行の取扱いと変わるものではない。

(組合) 先日も立坑の扉と試運転列車が衝撃など発生した。また台風などの自然災害も発生している。訓練なども検討するべきである。

(会社) 全社員の訓練は難しい。ビジュアル教育で対応していく考えである。なおトンネル内の避難訓練については一部の社員を対象に行っていく。

11. 羽沢横浜駅構内の場内・出発信号機故障の取扱いを明らかにすること。

(回答) 場内信号機故障時は、手信号による方法もしくは誘導となる。出発信号機故障時は手信号による方法となる

(組合) 運転取り扱い実施基準も含めて JR の取り扱いなのか、相模鉄道の取り扱いなのか明確にすること。

(会社) 相模鉄道では場内・出発信号機に対しては相模鉄道社員の手信号で行う。よって場内に対する進行の指示運転は行わない。そのほかの取り扱いに関しては JR に準ずる。訓練で周知していく。

【設備】 1. 羽沢横浜国大駅の乗務員詰所の場所、レイアウトについて明らかにすること。また、一度に使用する最大の人数を明らかにすること。

(回答) 必要な設備については整備していく考えである。

(組合) 乗務員詰所では相鉄の社員も利用するのか？また椅子は何脚あるのか明らかにすること。

(会社) JR 東日本の社員だけが利用し、テーブルと椅子は 20 脚程度を設置する。

2. テーブルやイス等の備品を準備する箇所について明らかにすること。また、備品については使用する社員の意見を聞いて、十分な個数を設置すること。

(回答) 必要な設備については整備していく考えである。

(組合) 現場の意見も含めて設置をしていただきたい。

(会社) 新たに購入するものもあれば、新宿運輸区で使用しているものも活用していく。現場でのコミュニケーションを取っていただきたい。

3. 詰所内の男女別トイレについては、待つことがない様に十分な個数を設置すること

(回答) 必要な設備については整備していく考えである。

(組合) トイレの設置個所の現状がわからないので明らかにすること。

(会社) 休養室フロアには男性用(大)2個女性用(大)2個が設置される。またホーム場にも上下ホームにそれぞれ男女1個ずつのトイレが設置される。